

4 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道の 9 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2009 年級) は 1994 年以降で 3 番目に少なく、5 年魚 (2008 年級) は 1994 年以降の平均的な水準
- 北海道の日本海側 (オホーツク海区及び日本海区) では、1994 年以降で 4 年魚の来遊数が 2 番目に少ない一方、5 年魚および 6 年魚の来遊が目立つ
- 北海道のサケの平均重量は 3.46kg で、前年同期よりは大きい

・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、9 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2009 年級) が前年同期比 113.9%、1994 年以降の平均値の 56.3%となっており、前年並みですが、平年と比べると少ない状況です。一方、5 年魚 (2008 年級) は、前年同期比 116.8%、1994 年以降の平均値の 94.1%となっており、過去の平均並の来遊となっています (図 1)。

年級群 (生まれ年) ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2009 年級は、4 年魚までの来遊数 (2~4 年魚の来遊数) で比べた場合、近年 (1992 年級以降) のなかで 3 番目に少ない来遊数となっています (図 2)。また 5 年魚である 2008 年級は、近年では 6 番目に低い水準です。

地域別にみると、太平洋側 (根室~えりも以西海区) では、4 年魚および 5 年魚が近年ではいずれも 6 番目に少ない状況です (図 3)。一方、日本海側 (オホーツク海区及び日本海区) では、4 年魚は近年で 2 番目に少ないのに対して、5 年魚は 4 番目に多く、6 年魚は最も高い水準となっており、5 年魚と 6 年魚の来遊が多くなっています (図 4)。

なお、サケの年齢組成は来遊時期の初めの頃には 5 年魚や 6 年魚といった高齢魚の割合が高く、シーズンが進むにつれて 3 年魚や 4 年魚の割合が高くなる傾向があります。

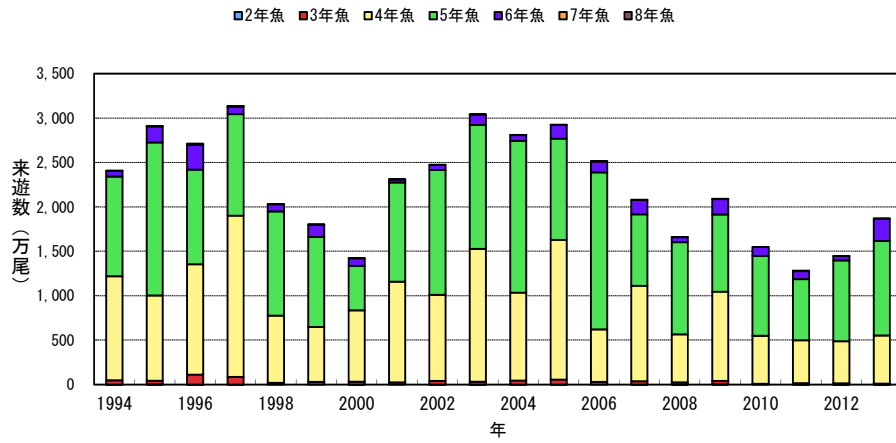


図 1. 9 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）

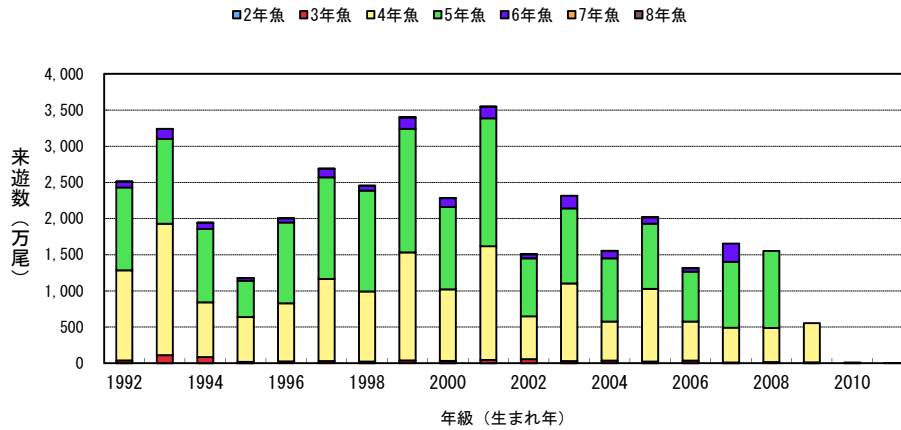


図 2. 9 月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）

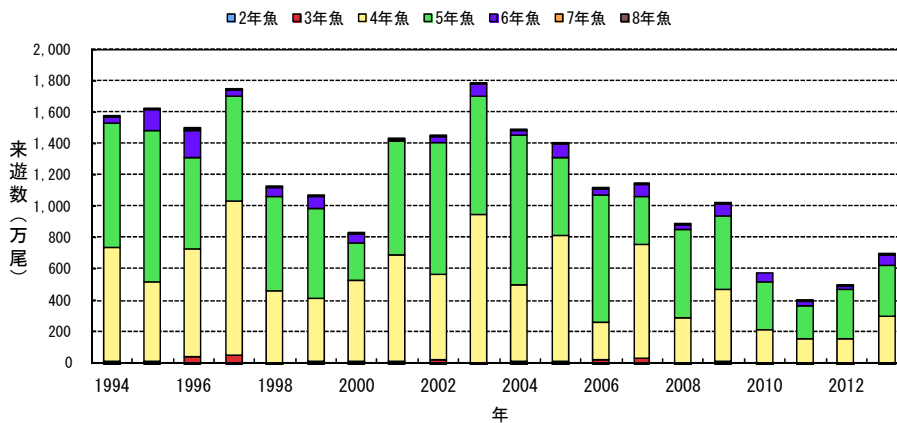


図 3. 9 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）

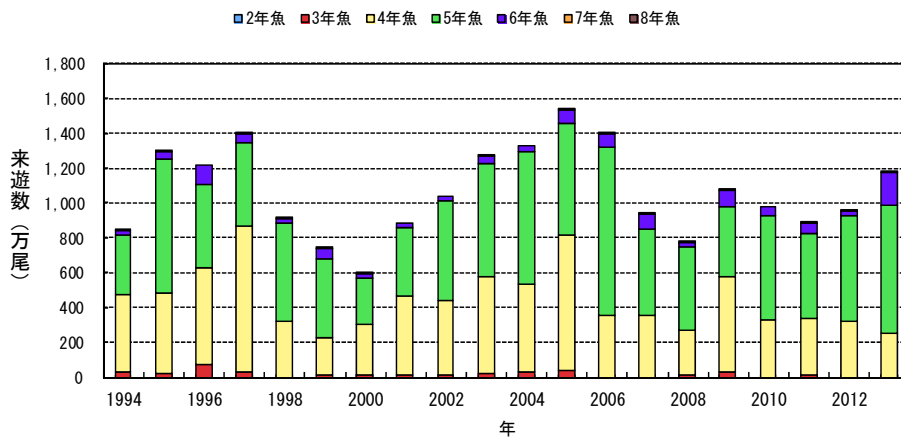


図4. 9月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）

・サケの体サイズ

北海道における9月30日現在のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.46kgであり、これは前年同期の107.1%に相当します。平成元(1989)年～平成23(2011)年の同時期（9月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは平成19（2007）年～平成20（2008）年に近い水準となっています（図5）。

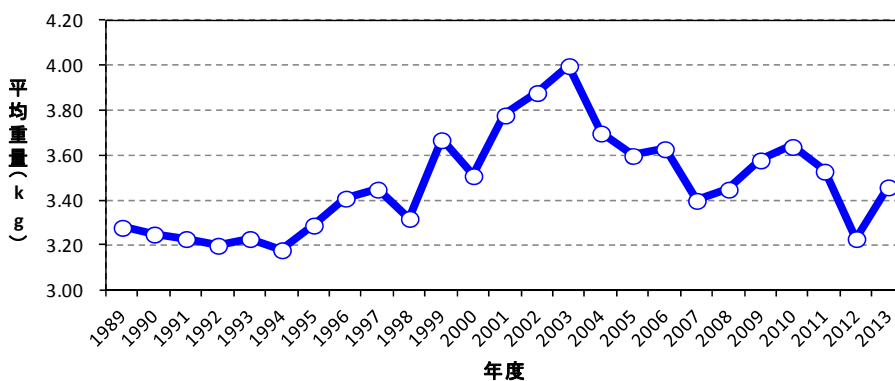


図5. 9月末時点のサケ平均重量（北海道）